

重点分野2 (中目標)	経済インフラの整備												
開発課題2-1 (小目標)	<p>【現状と課題】</p> <p>ギニア政府は、経済成長に資する経済・社会基盤の整備に重点を置いている。同国政府の「経済・社会開発国家計画(2016-2020)」(PNDES)において、投資促進や国土開発のためのインフラ整備が優先課題とされている他、安定した水へのアクセスの強化も重視されている。交通インフラについて、特に道路インフラは脆弱であり、舗装道路は全体の25%に留まり、西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)域内の周辺国と比べても整備が遅れている。また、衛生設備へのアクセスは20%、飲料水へのアクセスは77%に留まっている(WHO/UNICEF 2015)。同国の経済成長のため、経済・社会基盤の整備に対する支援が急務である。</p>				<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>我が国はこれまで首都コナクリにおける送水管更新事業、給水事業に対する個別専門家派遣等を通じて、コナクリ市を中心としたギニアの給水環境の改善に貢献してきた。また、主要幹線道路である国道一号線の橋梁改修、コナクリ市地図作成等の基礎インフラ整備を手掛けてきた。今後も社会生活の安定や投資促進に資する基盤インフラ整備を支援する。上記方針を通じ、持続可能な開発目標(SDGs)の6(水・衛生)、9(インフラ、産業化、イノベーション)、11(持続可能な都市)等の達成に貢献する。</p>								
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
	経済・社会基盤の整備	地域間における貧富の格差にも留意しつつ、社会生活の安定や投資促進に資する都市基盤インフラ整備の支援、特に衛生的で安定した水へのアクセスの向上を目指す。	国道一号線橋梁改修計画	無償	■							16.06	
			国道三号線スバ橋架け替え計画(詳細設計)	無償	■	■	■					0.57	
			国道三号線スバ橋架け替え計画	無償	■	■	■	■	■	■	■	14.14	
			水道公社アドバイザー	個別専門家	■								
			地理情報システム人材能力強化アドバイザー	個別専門家		■■■■■■■■							
インフラ分野の課題別研修			課題別研修他	■	■								
重点分野3 (中目標)	基礎的社会サービスの向上												
開発課題3-1 (小目標)	<p>【現状と課題】</p> <p>ポスト・エボラ復興計画や保健システム復興計画(2015-2017)において、エボラ出血熱の感染拡大に際して露呈した脆弱な国家保健システムの強化が重点戦略に掲げられている。人口千人あたりの看護師及び助産師数が0.043人であるなど保健人材が不足しており、人材育成が急務となっている。</p>				<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>ポスト・エボラ支援の一環として、第三国研修や施設整備により、保健行政及び医療施設に従事する人材の育成等の保健システム強化を支援する。上記方針を通じ、持続可能な開発目標(SDGs)の3(保健)、17(実施手段)等の達成に貢献する。</p>								
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
	保健システムの強化	ポスト・エボラ支援の一環として、脆弱な保健システムの強化に向けた協力を実施する。	感染対策衣普及促進事業	民間提案型技協	■								
			国立公衆衛生研究所建設計画協力準備調査	協準	■								
			保健分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■	■	■	■	■	■	0.12	
保健分野の課題別研修			課題別研修他	■	■								

開発課題 3-2 (小目標) 基礎教育の向上	【現状と課題】			【開発課題への対応方針】							支援額 (億円)	備考		
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間									
					2019 年度 以前	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度				
基礎教育向上プログラム	長期的な人的資本開発のために質の高い初等・中等教育の普及定着を目指すとともに、職業訓練支援も可能な限り実施する。		第二次首都圏周辺地域小中学校建設計画	無償	■■■■■							19.13		
			アフリカ諸国向け職業訓練(フェーズ4)(セネガル)	第三国研修	■■■■■									
			アフリカ諸国向け職業訓練(フェーズ5)(セネガル)	第三国研修		■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■			
			教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■■■■■									0.62
			マムー小学校教員養成校建設計画	無償	■■■■■						5.50			
			教育分野の課題別研修	課題別研修他	■■■■■									
その他	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考		
					2019 年度 以前	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度				
	その他個別案件			アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)	国別研修	■■■■■								
			その他の分野の課題別研修、青年研修	課題別研修他	■■■■■									

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「個別機材」、「個別研修」、「課題別研修他」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=JICA海外協力隊)、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(=水産無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「情報収集調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「基礎調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」、実線「——」(=実施期間)、破線「- - -」(=実施予定期間))

※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。